

町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP メール  
若い世代の育成に全力をささげる政治



## インターン体験記⑩柴田 真意

日本青年館ホテルの総支配人とIT企業の社長と面談

インターンシップで様々な人にお会いすることができましたが、今回はホテル業の総支配人というまだ話したことがない方に会う目的で、一般財団法人 日本青年館を訪ねました。その収益事業のホテル部門を「日本青年館ホテル」と言い、場所は都心の神宮球場の正面にありました。その総支配人の福田達也様から、ホテルの事業内容について直接説明を受けることが出来ました。

私は旅行が好きなのでホテル業には少し関心を持っていました。しかし、コロナのこともあり2つ上の知り合いもホテル業に勤めたかったのですが別の企業を選択しました。今は落ち着いてきた状態ですがコロナの大打撃を思い出すとどれほどの損害だったのかそして現状はどうなのか知りたいと思い色々質問をしてみました。また、ホテルの「星」の意味や歴史なども教えてください、思っていたより奥が深いのだと分かりました。



次に訪れた場所は登記情報の会社(株式会社情報通信ネットワーク)に行きました。登記について全然知らなかったのですが、創業者であり、社長の佐野秀光様からそのサービス内容を実際に見せてもらうことでどんなものか理解することができました。最初、これで商売になるのかと思っていたのですが見ているうちにこれを作った社長と会社の凄さに驚きました。最初から最後まで学ぶこと多く良いインターンシップとなりました。

昭和女子大学3年生 柴田 真衣(第52期生)

◎町田市議会は定数36名、議員は原則「会派」単位に活動し、一般質問は個人で行います。採決は概ね「会派」単位、会派「無所属」は自由に賛否を決める場合もあります。

## 高校生と市議のパネルディスカッション

都立小川高校の3年生全員と町田市議会議員(全会派から各1名の6名)によるパネルディスカッションが開催されました。担当の先生(公民の授業担当)が熱心で、校長先生の理解で実現したものです。そもそも小川高校からの提案でした。高校生が政治に関心を持つこと、政治を身近に知ってもらうことが目的で、地域の議員の仕事を知ること、地方政治に興味や関心を持ち、地方政治に自ら参加しようという意識を育成するために開催されたものでした。都内の高校でもこうした実施例は極めて珍しいということでした。◎質問と、無所属会派の吉田つとむの回答の内容は以下の趣旨でした。

**質問1:**なぜ議員になったのか?きっかけはいつから議員になろうと思っていたか?

**答え1:**人の役に立ちたいと思い、国会議員の選挙に出たが何度も落選。市議選から再スタート、それも1回落選。選挙は全部で15回、8勝7敗。

**質問2:**議員は普段なにをしているか?

**答え2:**少数意見の声を議会に届けるため、市民の声を聞いたり、勉強のためにあちこち見学や研修に出かけ、その報告書を書くことに時間を使っている。

**質問3:**町田市をどう思っているか? 町田市にどのような課題があるか? 今後、町田市をどのようなしていきたいか?

**答え3:**高校生など若い人が学校以外で集まり、話し合うことができるような場所が少ない都市だと思っている。お金が使わなくても、夜の時間にも若い人が勉強もでき、楽しく集まれる環境づくりが必要だと考えている。



写真は文化祭訪問時のもの

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員(4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘1-14-12  
サンホワイトE103-13  
☎ 042-795-7361 (FAX: 必要に応じて186を頭に加える)  
議会 042-724-2171  
yoshidaben@gmail.com



## 地域医療政策セミナーに出席

町田市を含めて全国の271自治体(市町村や一部事務組合)が公立病院を持ち、その自治体議会の協議会が運営する、第17回地域医療政策セミナーに出席し、2つの講演を聴きました。その内の1件は、「食支援の京のまちづくり ~新たな産業連携の試み~」愛生会山科病院 消化器外科部長 荒金英樹氏となっており、京都市山科区内の民間病院の医師の方で、摂食嚥下障害の改善に取り組んでいる方でした。摂食嚥下障害と言うのは、特に高齢者に多く見られるもので、食べること、飲み込むことの障害のことで、上手く食べられない、飲み込めない状態とされています。

摂食嚥下障害の人のために取り組んだ食物を開発するプロジェクトで、一番目立った料理では、京料理を嚥下食プロジェクトとして立ち上げ、料亭職人にそれを現場感覚で開発する取り組みが進められていました。京都のお茶、和菓子、お酒や豆腐の嚥下食プロジェクトが各分野の地元企業の参加で進められていました。あわせて、器の改良も同時進行で展開されているという説明でした。産業界・企業と協同し、事業として成立させようという試みが進行しているのが特徴でした。



- 支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。
- 吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。
- ◎町田市内企業が開発した「水耕栽培メロンの世界一決定戦」を開催しよう!
- 吉田つとむは令和4年2月実施の市議会議員選挙で、4期連続のトップ当選を果たしました

## 大学祭論評:東工大の大学祭は総合トップ

大岡山にある東工大の大学祭を見学しました。コロナ以前にもこの東工大大学祭を見学した時にも感想を書きましたが、大学祭の中身が充実していて、他に抜きこんでいるように思いました。今回も際立った大学祭となっていました。



東工大の大学祭の良さは、研究室の研究発表展示があること、素粒子関係の研究室では、学生だけでなく教授が自ら説明役を買って出ていました。聞き手が研究室一杯に広がっていました。客層は中高生が多く、東工大の進学を想定した生徒ではないかと思えました。生物系の企画は、小学生とその親が山ほど詰めかけていました。「にかいどうぶつえん開園」というポスターが目立ち、その建物には長蛇の列が出来ていました。二階堂研究室という部屋があり、生物の進化の研究が専門のようでした。無機系では、セラミックとガラス系の研究室を見て回りました。一般人が訪れても対応できる展示説明がありました。磁性流体?というものがあり、その説明は標本を使ったもので、一見して分かりやすい部分と、それが何かわかりにくい面の双方を持っていました。第一、それを研究室が課題としているわけだし、一般人が全部を理解するはずも無かろうと考えた次第でした。蛍光を説明する展示もありました。東工大らしく、スーパーコンピューターシステム室も公開されており、TSUBAME3.0が見学できました。

良識ある保守主義・情報公開

# 吉田つとむ

町田市議会議員(4期連続トップ当選)

〒194-0011 町田市  
成瀬が丘 1-14-12  
サンホワイト E103-13  
☎ 042-795-7361 (FAX: 必  
要に応じて186を頭に加える)  
議会 042-724-2171  
yoshidaben@gmail.com



## 清溪セミナー：泉 房雄氏(前明石市長)

超党派地方議員が運営する第28回清溪セミナーに参加しました。その講師の中に、泉 房雄氏(前明石市長)があり、直近まで全国で最も有名自治体市長(前明石市長)でした。元衆議院議員、弁護士、社会福祉士とご自身で説明され、講演は3期12年市長としてどのような市政を作ってきたかと言うものでした。こども施策を中心にすえて市政を転換させた成果を述べられました。

泉房雄氏は、前明石市長として、次々と子ども施策を打ち出し、明石市を発展させ、政治家として高い評価を定着させてきました。歯に衣を着せない発言で反感を買ったり、あるいは敵を作りました。議員の多くは反泉派であるように思われましたが、首長が議会に対して圧倒的な力を持っていることを証左してきました。泉房雄氏が提起、推奨した施策は全国の自治体首長に支持され、いや、それ以上に地方議員に支持されています。地元の明石市では、議会に強力な反対派が存在しましたが、他の地方では首長と地方議員双方に支持されるのではないのでしょうか。今後、大阪維新の会と異なった、あるいは対立する施策を持って、地方自治体経営の主流派争いを展開してくるのではないのでしょうか。



◎町田市議会の所属委員会や個別の会派では、それぞれに行政機関や他の議会を対象にした地方視察を行っています。及び、会派の一議員視察の形式をとったものもあります。それらとは異なり、個人で民間の施設や連覧会を現地見学したものも記事として掲載することもあります。

◎上記のような様々の視察・見学・インタビューも、議会の一般質問や質疑に活かしています。

## 清溪セミナー：指導の手法に特徴がある

井上登生氏(小児科医:大学で臨床教授(小児科学)を務める一方で、小児科医院の院長、現在は理事長を務める。)は、子どもの虐待防止の活動、その体制づくりの大事さを実践されている医師であり、地方の小規模都市の施策として、広域連携の体勢づくりの一方、顔の見える関係づくりを求めています。妊婦中からのケアとして、保健師の役割を重視し、親と直接あうことの必要性を説いていました。ごく当たり前の指摘であるようですが、虐待に至る問題発生を、当事者の生活を見る視点の重要性を尊重してのことでしょう。



重永侑紀氏(NPO法人にじい CAP 代表理事)は、他の講師と異なり、個人として人と接する対応ではなく、グループとして、組織(学校、教育委員会、自治体)への講演、研修、ワークショップを実施する NPO 法人として活動しています。そうした方法を取ることで、大規模事業所でないにも関わらず、児童の虐待防止活動に大きなかわりを持つ手法を展開していました。世帯が大家族世帯から少数世帯に、さらに児童がいない世帯が圧倒的な割合に歴史転換したことを前提にした、子ども問題の対応プログラムを提起していることが、行政組織にも受け入れられている背景ではないのでしょうか。

町田市議会議員(4期連続トップ当選)

# 吉田つとむ



ブログ 個人HP メール  
若い世代の育成に全力をささげる政治



## インターン体験記⑧柴田 真衣

町田市国際文化財団が運営する町田市民ホール

今回、町田市国際文化財団が運営する町田市民ホールで施設の説明を聞かせて頂きました。私は財団についてあまり詳しく知りません。たまに耳にするぐらいのものだったのでそのことについて色々理解することができて良かったです。学校でよくミュージカルやオペラなどを観賞する機会があるのですがバレエや落語などはまだ見たことがないので聞いてみたいと思いました。値段もかなり手が出しやすいものとなっていて市民が行きやすいようになっていると思いました。私がインターンシップで訪れている期間は残念ながら催し物が開催されていなかったのを見ることは叶わなかったのですがこれのためだけにわざわざ足を運んで見たいと思えるラインナップでした。

午後は町田のカフェに訪れたのですが、そのカフェには「職業体験歓迎」などの看板が建てられており、懐かしい気持ちになりました。私も中学生の頃、近所のスーパーで職業体験を経験して仕事の大変さを学んだので学生にとって受け入れてくれる場所があるのはありがたいと思いました。



昭和女子大学3年生 柴田 真衣(第52期生)

## インターン体験記⑨柴田 真衣

吉田議員の元インターン生の社会人と面談

9回目の研修で吉田つとむ議員のインターンシップの先輩(現在社会人として就業中)と面談しました。ちょうど将来について不安な思いを抱えていたので自分が悩んでいることを全て打ち明け、どうすればいいのか相談に乗ってもらいました。先輩は優しく私の話を真剣に聞いてくれて私もこの先どうするべきか少し希望が見えてきました。

次いで、築地に向かい歌舞伎座に向かいました。歌舞伎は今回見れなかったのですがお土産屋さんで絵柄が入った飴の作り方を生で見させて頂きました。私は完成した小さな飴しか知らなかったのが元々大きな飴を細く伸ばして小さくしていたことに驚きました。絵柄もどんな絵柄になるのか分からず予想しながら見てました。カット体験もできるということで挑戦してみたのですが綺麗な形に切るのは難しく最後の方で漸く良い形の飴が出来ました。

帰りに築地本願寺に入ろうとしたのですが残念なことに参拝時間が終了してしまい中の様子を見ることができませんでした。



昭和女子大学3年生 柴田 真衣(第52期生)

◎吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2023年9月末までに105名が参加しました。

◎インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューです。